

選定に必要な資料

(種目名 地理的分野)

No. 1

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	(1) 内容, 程度, 分量等	(2) 教材の選択や構成等	(3) 興味・関心を高める工夫	(4) 教科の特性, 島根県の実態や課題への適合等	(5) 発展的学習, 自学自習についての工夫	(6) その他	
A 東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的内容で構成されている。それぞれの章のはじめに小学校での学習内容とのつながりが示されており, 学習に取り組みやすい配慮がなされている。(p5等) ・地理学習を進める上での基礎的・基本的な技能が習得できるよう「地理スキルアップ」のコラムが適切に配置されている。(p9等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界や日本の諸地域では, 1時間ないし2時間, 地域全体をながめた後, 学習テーマや追求テーマに従って様々な視点から地域をとらえる構成になっている。また, 各節の最後にテーマにもとづいたまとめの例がいろいろなパターンで紹介されている。(p58, p70) ・各時間に学習課題とその時間の学習内容を確認したり, 深めたりする課題が, 「確認」として示されている。(p7) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「地理にアクセス」(p11等)や「ティープレーク」(p7等)で, 興味を引き出す工夫をしている。現地の人の声を載せるコラムがあり, 暮らしの様子が具体的にわかるようになっている。(p25等) ・各章の扉の写真に, 大きな写真や, 人々の暮らしがわかる写真を掲載し, 興味・関心を高めるよう, 工夫されている。(p21等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・竹島については本文中に, 「日本固有の領土」「韓国が不法に占拠」などと記述されている。「地理にアクセス」で, 地図や島の写真が掲載され, 自然環境や産業を中心に紹介されている。(p133-134) ・中国・四国地方は, 人口や都市・村落を中心に学習する構成になっている。「高齢化が進む農村と町おこし」で雲南省の市町村合併「交通網の発展による地域の変化」で浜田市が掲載されている。(p199-200) 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元末に, 「深めよう」というコラムをのせて, 発展的な内容の情報を記載し, より深く追究できるようになっている。また, 最後に「トライ」として追究課題のヒントが示されている。(p41等) ・「調査の達人」で, 調査学習を進めるうえでの技能の身につけ方が示されている。(p116-125等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地形図の読みとりの技能について「世界から見た日本の姿」の章でと取り上げられている。 ・巻末に, 統計資料, 用語解説, 農産物や家畜の写真が掲載されており, 自学自習に利用できるようにになっている。 ・防災・減災については, 「日本の諸地域」の章でそれぞれ取り上げられている。(p180等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・知的好奇心を高め, 人々が平和に暮らすことができる世界の実現をめざして編纂された教科書である。 ・異文化理解と共生社会, 環境への適応と防災・減災に配慮した編集がなされている。 ・各章の振り返りで多様なまとめ方が示され学習内容の定着を図るための工夫がされている。また小学校とのつながりに配慮し, 3分野を通して公民的な資質を養うために効果的である。
G 教育出版	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的内容で構成されており, 文章表現の程度も平易である。 ・世界や日本の諸地域の記述には, その地域の歴史的な背景が比較的詳しく述べられている。(p60等) ・地理学習を進める上での基礎的・基本的な技能が習得できるよう「地理にアプローチ」がまとめて設けられている。(p6-10等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界や日本の諸地域では, それぞれに追求するテーマを設定し, 章末に地図を使ってまとめたり, 文章で表現したりする課題が示されている。(p40等) ・各時間に「学習課題」を示し, 最後にふりかえるポイントが示されている。(p12, 13) ・「世界から見た日本の姿」の記述が比較的少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生の導入時には, 大きな雨温図を用いて関心を高め, 図表の読み取りに力点を置いている。(p21等) ・「地理の窓」が設けられ, 生徒が興味をもつことのできる情報を提供している。(p17等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・竹島については本文中で7行にわたって, 「日本固有の領土」「韓国が不法に占拠」などと記述されている。地図や島の写真が掲載されている。(p131) ・中国・四国地方は, 人口や都市・村落を中心に学習する構成になっている。島根県は, 「人口減少と地域の悩み」の中で, 石見銀山で観光開発している大田市が扱われている。その他石見空港の利用問題が扱われている。(p178, 183) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域から世界を考えよう」「現代日本の課題を考えよう」のコラムが世界や日本の諸地域の単元末に掲載されている。興味深い内容で学習を深めることができる。(p57, 172等) ・毎時間, 「ふりかえる」の中にある2つのステップを参考にして学習内容を確認し, 生徒の自学を助けることができる。(p13等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界地図の多くがヨーロッパ中心の地図を採用している。 ・巻末に, 統計資料, 用語解説, 農産物や家畜・鉱産物の写真が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平和な世界の実現をめざし, その基盤となる「未知なるものへの好奇心」と「グローバル化への対応」を育てることをねらいとして編纂されている。 ・「地域から世界を考えよう」「現代日本の課題を考えよう」などを通して, 広い視野に立って課題を考えるよう工夫されている。

選定に必要な資料

(種目名 地理的分野)

No.2

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	(1) 内容, 程度, 分量等	(2) 教材の選択や構成等	(3) 興味・関心を高める工夫	(4) 教科の特性, 島根県の実態や課題への適合等	(5) 発展的学習, 自学自習についての工夫	(6) その他	
K 帝国書院	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的内容で構成されている。本文は比較的分量が多く、詳しく丁寧である。 ・用語解説を巻末ではなく、本文横に配置しているため、理解を進めやすく配慮されている。(P6等) ・地理学習を進める上での基礎的・基本的な技能が習得できるよう「技能をみがく」のコラムが適切に配置されており、記述も詳しく効果的である。(p7等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界や日本の諸地域は、自然環境について概観した後、「注目するテーマ」を設定し、それぞれ異なる視点でとらえられるよう構成されている。また、各節の最後に「学習をふりかえろう」で、確認・説明・探究の3段階の課題が設けられ、総合的な力が身に付くよう工夫されている。(p37, 48-49) ・各時間に、学習課題が明示され、最後に確認・説明の2段階の振り返りポイントが示されている。(p2-3) 	<ul style="list-style-type: none"> ・全ページにわたり、その地域の特色を一目でつかめる大きな景観写真を掲載し、学習への興味・関心を高める工夫がされている。(p84, p216等) ・現地に住む人や、実際に働いている人の具体的な話を紹介する、「声」のコーナーが設けられている。(p56等) ・「羅針盤」のコラムでは、共生・環境・防災の視点から未来の社会づくりについて、生徒の思考を促すように工夫されている。(p57等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・竹島については、本文で、「日本固有の領土」「韓国が不法に占拠」と記述がある。コラムでは江戸時代以来の歴史や、竹島での漁の写真が掲載されている。(p127) ・中国・四国地方は、他地域との結びつきをテーマに構成されている。島根県については交通網の整備により、過疎化が進む山陰地方におこった変化を、豊富な資料を取り上げて説明するなど配慮が見られる。(p192-193) 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の諸地域では、各地方の学習の最後にこれまで学習してきた視点と違う視点から地域の特色にせまる「地域をさぐる」というコラムがあり発展的な学習につながるように工夫してある。(p180等) ・地理の知識や技能を使って、課題に自分なりに挑戦する「トライアル地理」が、2テーマ設定されている。(p148等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地図やグラフの色彩が鮮やかで、非常に読み取りやすくなっている。 ・導入として地域の特色を表す興味深い写真を大きく掲載している。レイアウトが巧みで写真をじっくり見ることができるようになっている。 ・巻末に農産物や家畜・鉱産物の写真が掲載され、自学自習できるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平和な世界の実現をめざし、その基盤となる「未知なるものへの好奇心」と「グローバル化への対応」を育てることをねらいとして編纂されている。 ・重要な資料である地図や写真資料の掲載を工夫し、そこから情報や課題を読み取れるように編集されており、優れている。 ・竹島問題や中四国地方における島根県の扱いは、資料が豊富で記述も詳しく、本県の実態や課題を学ぶのに適している。
O 日本文教出版	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的内容で構成されており、文章表現の程度も平易である。 ・見開きのはじめの部分にポイントとなる言葉を示しており、学習の目印とすることができる。(p2等) ・地理学習を進める上での基礎的・基本的な技能が習得できるよう「スキルアップ」のコラムが、配置されている。(p4等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界や日本の諸地域は、地域を大きくながめた後「学習テーマ」を設定してそれぞれ異なる視点で捉えられるよう構成されている。(p35等) ・各時間に、学習課題と確認事項が示されている。(p3等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「連携コーナー」がページの下に書かれており、小学校の学習内容とのつながりや歴史・公民の内容とのつながりがわかりやすく掲載されている。(p2等) ・現地に住む人や実際に働いている人の言葉を紹介する「声」のコーナーが設けられている。(p14等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・竹島については「日本固有の領土」「韓国が不法に占拠」などと記述されている。地図や島の写真の他に松江市の竹島資料室の写真も掲載されている。(p118~119) ・中国・四国地方は、人口や都市・村落の視点から学習する構成になっており、島根県の多くの地域は過疎地域として取り上げられている。一方、松江市は都市化が進む過密地域という扱いである。(p187, 189) 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の諸地域の学習では、「北極地方と南極地方」等をテーマにした「自由研究」のページが単元の最後に掲載されている。(p99) ・日本の諸地域では、「地域からのメッセージ」として各地域の人々が地域の課題にどう取り組んでいるかが紹介されている。これらを通して、発展的な学習を進めることができるようになっている。(p180等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ページの端にインデックスがつけられており、今この学習をしているのかがわかるようになっている。 ・巻頭に「世界の仲間」として各国の学校の様子が、巻末に日本の世界遺産・無形文化遺産が写真入りで掲載され、地理学習への興味を引き出すように工夫されている。 ・防災・減災の記載が、充実している。(p140-149等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨今求められているグローバル化とローカル化の二つに配慮して編纂された教科書である。教科書で学んだこととにして、国際社会が抱える問題に立ち向かっていけるように編集されている。